







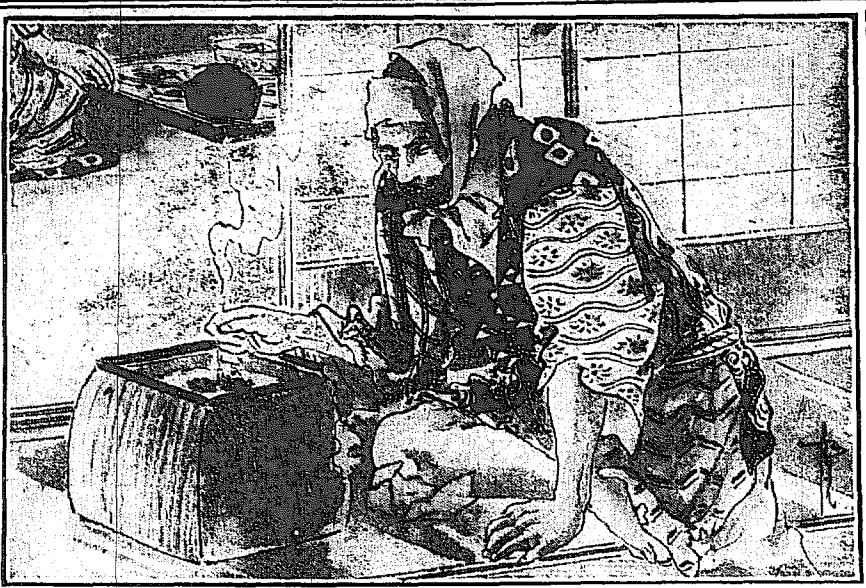






明君道中記

第四十四席 田邊南龍口演



美濃屋六次郎大次郎近江守... 美濃屋六次郎大次郎近江守... 美濃屋六次郎大次郎近江守...

只酒を飲んで... 只酒を飲んで... 只酒を飲んで...

受ける非... 受ける非... 受ける非...

非... 非... 非...

毛皮なめし... 毛皮なめし... 毛皮なめし...

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS advertisement. Includes a bottle image, Japanese text describing benefits for liver health, and a list of agents.

朝鮮語會話 (Korean Language Conversation) advertisement. Includes a list of agents and contact information.

イゲダ小兒病内科醫院 (Igeda Children's Hospital) advertisement. Includes a list of agents and contact information.

醫化製諸器微式 (Medical Instrument Manufacturing) advertisement. Includes a list of agents and contact information.

酒清等優本日大 (Great Day's Superior Clear Wine) advertisement. Includes a list of agents and contact information.

銀行一般業務 (General Bank Business) advertisement. Includes a list of agents and contact information.







### 張氏邦人優待諭示

張氏邦人優待諭示 (奉天特電)  
張氏邦人優待諭示 (奉天特電)  
張氏邦人優待諭示 (奉天特電)

### 宗社黨關係者戒飭

宗社黨關係者戒飭 (奉天特電)  
宗社黨關係者戒飭 (奉天特電)  
宗社黨關係者戒飭 (奉天特電)

### 西部戰線益々活躍

西部戰線益々活躍 (奉天特電)  
西部戰線益々活躍 (奉天特電)  
西部戰線益々活躍 (奉天特電)

### 伊勢大廟祭主

伊勢大廟祭主 (奉天特電)  
伊勢大廟祭主 (奉天特電)  
伊勢大廟祭主 (奉天特電)

### 臨時內閣會議

臨時內閣會議 (奉天特電)  
臨時內閣會議 (奉天特電)  
臨時內閣會議 (奉天特電)

### 地方官選更

地方官選更 (奉天特電)  
地方官選更 (奉天特電)  
地方官選更 (奉天特電)

### 滿鐵旅客激增

滿鐵旅客激增 (奉天特電)  
滿鐵旅客激增 (奉天特電)  
滿鐵旅客激增 (奉天特電)

### 征蒙軍の歸奉

征蒙軍の歸奉 (奉天特電)  
征蒙軍の歸奉 (奉天特電)  
征蒙軍の歸奉 (奉天特電)

### 支廠豫算提出

支廠豫算提出 (奉天特電)  
支廠豫算提出 (奉天特電)  
支廠豫算提出 (奉天特電)

### 海拉爾の陥落

海拉爾の陥落 (奉天特電)  
海拉爾の陥落 (奉天特電)  
海拉爾の陥落 (奉天特電)

### 朝鮮貿易

朝鮮貿易 (奉天特電)  
朝鮮貿易 (奉天特電)  
朝鮮貿易 (奉天特電)

### 蒙軍南下策

蒙軍南下策 (奉天特電)  
蒙軍南下策 (奉天特電)  
蒙軍南下策 (奉天特電)

### 地方官會議

地方官會議 (奉天特電)  
地方官會議 (奉天特電)  
地方官會議 (奉天特電)

### 地方稅務檢閱

地方稅務檢閱 (奉天特電)  
地方稅務檢閱 (奉天特電)  
地方稅務檢閱 (奉天特電)

### 歲末經濟狀況

歲末經濟狀況 (奉天特電)  
歲末經濟狀況 (奉天特電)  
歲末經濟狀況 (奉天特電)

### 奉天より

奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)

### 東三省の警察

東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)

### 支那銀行の合併

支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)

### 奉天より

奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)

### 東三省の警察

東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)

### 支那銀行の合併

支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)

### 奉天より

奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)

### 東三省の警察

東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)

### 支那銀行の合併

支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)

### 奉天より

奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)

### 東三省の警察

東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)

### 支那銀行の合併

支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)

### 奉天より

奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)

### 東三省の警察

東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)

### 奉天より

奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)

### 東三省の警察

東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)

### 支那銀行の合併

支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)

### 奉天より

奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)

### 東三省の警察

東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)

### 支那銀行の合併

支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)

### 奉天より

奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)

### 東三省の警察

東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)

### 支那銀行の合併

支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)  
支那銀行の合併 (奉天特電)

### 奉天より

奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)  
奉天より (奉天特電)

### 東三省の警察

東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)  
東三省の警察 (奉天特電)







相代は、松崎と云ふ名前を聞くと同時に、これは必定幸三郎が奔走の結果、松崎に貰ひ下げ方を頼んだものであると思つたので、左して遂にひもせちに答へたのである。

「然らば、その者に引渡しして遣はすが、以後は、能く頼まんと不可ぞ」

「有がたう御座います」

相代は、放免さるゝ事の嬉しさに幾度か禮を述べて、警部の前を引退つたのである。そして控へ所の所まで出て來ると、其處には果して、松崎が野に延べて待ちかねて居るのであつた。

「セツ、相代さん、島渡倉橋さんからお話をしたんで、飛んでもない災難にお遇ひでしたわ」

「松崎さん、折角貴方が藤にお在りやう」と御心配下すつた甲斐もないたのである。

相代は、十中の八九まで、幸三郎の居る所まで連れて行つて貰へたと信じて、悲しみの中にもそれ一切の煩みに思ひつゝ、俵の獨り昨日以來の我が身の變化を………現のやうに考へなご爲てた間に、俵は何時か、神田橋をな。相代は、流行にその方角違ひに氣付いて、我ながら穏やかかぬ胸騒ぎを覺へた。けれども、身として、俵を止めて、松崎に先行を問ひし結すほどの餘裕は、無かつた。俵は、絶句間なしに走つて、代官町から馬場先のりを、眞一文字に日比谷公園のを過つて、内幸町の只ある裏へ出つた。

かたんど帳橋の地に付いた燈

ら方、に、そ、松、一、川、も、引、通、し、徹、こ、  
織、へ、乗、崎、私、う、取、は、す、し、

[illegible]

見ル  
朝大  
聖典  
丸ノ  
ラク  
下  
の  
部  
東  
銀

正統六年一月三十日  
 總督府濟生院  
 養育本集集  
 益多大屯今有學堂正信徒用重要  
 販賣希望者有見本呈す 東京  
 內有樂町一の四 日本佛教協會  
 風も如何なる寒氣も善にならぬ  
 飛行機帽子  
 衣類に於て是れがなければは暖氣の如く  
 首首を首首に首首の代用と云ひ助樂用  
 網眼より透氣 五十八錢 知す  
 色は原色口紅 瑞成及び印刷製造品  
 神田區本町市西橋 公益社  
 東洋三三〇三四番  
 時計  
 大倉金庫に  
 市金に  
 金四十圓  
 至二月十五日

現を印装回めを洗との面下のに開の回きく難回

# 放浪漫記

大谷光瑞師肖像と署名筆蹟、聽松草堂漫興  
三十首眞蹟、旅行地圖、各地寫真數十種挿入  
新裝上紙四百五十頁 定價 參圓 郵稅  
大和橋精裝製圖人 志

大谷光瑞師は、貴族中の貴族也。若嶺自ら持し、素行修潔の士也。志節過眼一世を公する人也。其の兄親と文章と、豈に容易に預り得ざるを得ん哉。然も持て本書に於て、且つ師親ら手記する所のものを、縦に作るを得ん哉。亦た驚奇ならずや。

波瀾起伏之に附屬せる遊歴漫筆一閱餘癡癡は實に師が心血を凝らすたる一片を謂ふる可也。師故あつて教養を退き、大正三年末迄棄去つて漫遊の途に赴たり、東亞細亞の各地を遍歴し、時に一處々々停頓して遊ぶものあるも、今猶ほ炎疾風雪を懼ずを止めぬ。習に本派有志長、使徒を派して日本漫遊を依頼したるも、師遂に肯せず自ら甘んじて長く、客土に老んとする所を厭ひたる也。其志堅に深く守す可からずや。
















此際師が目撃する所感觸する所の事々物々、及平生鑑賞する所感觸する所、抑塞不可言盡せる一腔の想念は其の靈腦に上つて清析俊逸の文字を流れて世間に傳へたり。獨り我が能く筆を執る者にして、師の自書せる諸書を以て一卷を成すとす。舊の遺稿、寧ろ喜讀せられて、國民新聞に登載するまで、大正三十一年十一月發刊より、大正四年六月普陀の巖に至る迄を撰ぶ。其間朝鮮、滿洲國西伯利、關東軍中清、熱河植民地、遼東等人事、風土、生産、商工業、動植物、氣象、風景に至るとして、其所見聞を採り、其の經緯地食の一端を覽らしむると同時に、其の

入 臣 吉 朕 文 論 生 寒 世 是 初 睦 滿 故 統 無 默

|   |                            |               |                   |                     |                    |                     |                      |                       |                      |                    |                    |
|---|----------------------------|---------------|-------------------|---------------------|--------------------|---------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|--------------------|--------------------|
|  <p><b>大阪屋</b></p> | 人握 全科参考書<br>學藝 劇戲 淨山 藝術 鏡像 | 井勇 集章 男<br>五〇 | 林彩 葉國銀 正直一三<br>六五 | 學成 兒の巻加舞 照照一〇<br>三五 | 命の贈光吉田 藤一郎一三<br>三五 | 山詩詳輝 毛利 湛勝 〇〇<br>三五 | 武士を家へして大庭 桐公一三<br>〇〇 | 藝術 ジュニアブライズ 澤一五<br>〇〇 | 著と投資 関本 扶共 二〇〇<br>〇〇 | 仙譚 話口置 默前 九〇<br>〇〇 | 我的生活新刊 石碑 九〇<br>〇〇 |
|---|----------------------------|---------------|-------------------|---------------------|--------------------|---------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|--------------------|--------------------|

に、は、九、谷、と、梅、つて、何、で、あ、の、室、の、交、し、來、た、で、し、ば、か、を、頼、ら、な、警、察、附、合、著、け、談、を、に、相、

[illegible]

 厩  
 厩  
 厩  
 厩  
 厩  
 厩  
 厩  
 厩  
 厩  
 厩  
 厩  
 厩  
 厩  
 厩  
 厩

仁川水町一丁目電話三七〇番

鄭家出張最影  
意匠新製版常備  
京坂日刊社寫眞製版部

京日案内

山崎三三三二九四備園上  
電話六二六京坂十友合資會社

本館に於ける信用ある本館  
電話六二六京坂十友合資會社

光化門通一六二番地底三空  
ある日本紙三二號寫眞部

大員入部と確證なる保證人を要す

青生林用年滿二十歳以内  
一名北山町三丁日刊社本館

大發

本邦生葡萄酒中の醇良品として  
 上流社會の人氣を此一身に集め  
 宮内省の御用命を

見よ！  
 眞價を語りつゝあり!!

牛久赤  
 白葡萄酒

純國產

診察時間  
 初診の御方は可成午午前中  
 至午後六時  
 京城長春川門丁目朝鮮銀行基門前  
 シメノウチ齒科醫院  
 電話八二二番

行所  
 東京市京橋區日吉町  
 電話口座一三二〇〇

民友社

賣捌所  
 京城太平通一丁目  
 電話智宮線三〇〇番  
 京城日報社代理部

大上南安阿永河海電  
仁仁仁仁仁仁仁

[illegible]

ばかりの計算、只つ僧道の僧侶を泣き、私に平壤が事實を氏の唱として全が美不に在り（あり）全鮮に連戦せれば功、其の後、城日報とせるした。

[illegible]

京 春 京 電 因 三 京 西 割 合 振 京

**綿** 本白・製・試製したるものもの  
に付付(百文)以上三圓の  
に就就す送附

舊京城三田番  
東蠶社 78

**間** 乘自働車 貨片道四圓  
城發別入 春川發前八時  
水標番八番 京春日動車會  
臨等參入番 支店入 松月利登

**給** 年金 即時 歩二厘五毛  
長坂 立春日 山口屋

南大外務部成町 廣川商店  
支店京西柳里町

一切の治療即復依に應ず  
明治町 柔術道場 1

**は** ねつぎうちみ

公年金 金時立 利子  
併金 南 京 永 一  
阪 角 江 州 屋 本 店 105

本町四  
上 58

本町四  
上 58

本町四  
上 58

60

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候  
 爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候

★  
 株式會社  
 京城本町壹丁目  
 百三十  
 銀行  
 支店  
 電話五八二九  
 電報掛金京城二一三四番

資本金五百萬圓  
 頭取 安田善三郎

如斯  
 二大  
 特色  
 あり

本酒は  
 京城縣牛久神谷葡萄園に移植したる佛國種  
 優良生葡萄實より搾取したる儘の精良品也  
 本酒は純國産なるを以て舶來品の如く高價  
 なる運賃關稅を要せず隨て價格頗る低廉也

所捌賣  
 總本日京東  
 衛兵利藤近

○三  
相三

大朝  
運經  
觀海

第廿  
步

群  
太山  
君委  
十

[illegible]

\_\_\_\_\_